

28JEITA-IS 第 1152 号
平成 29 年 1 月 13 日

各 位

(一社) 電子情報技術産業協会
インダストリ・システム部

セミナー開催のご案内

「自動運転車社会における責任問題はどう解決すべきか？」

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当協会の諸事業に対しましては格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

自動車の自動運転における研究開発は、日夜、進化を続け、安全機能などの一部の機能が実用化されています。今後、さらなる研究開発がスピードを増していき、自動運転機能が次々に実現していくでしょう。

また、公共交通機関やテーマパークなどで自動運転車を用いたサービスが実用段階に向けて運用が始められています。自動運転車が身近で走っている環境が当たり前になる日が近いかもしれません。

しかし、人工知能（AI）を核としたシステムが運転を行う完全自動運転では、システム側が責任を負うとされており、今後の実用化では、責任の所在を明確にしていく必要があります。

当セミナーでは、自動運転車社会が実現されるにあたって、責任を明確に規定するために、人工知能の進化、法的課題・規制緩和の解決、損害保険の在り方についてピックアップし、今後、どのような観点での議論が必要なのかを考察します。

また、自動運転車による事故が発生したことを想定し、法廷でどのようなやり取りが行われるのか、「模擬裁判」にて実演します。

ご関係・ご関心の各位におかれましては、ぜひ、ご参加いただければ幸いと存じます。

敬 具

【開催概要】

日 時：平成 29 年 2 月 23 日（木）14：00 ～ 17：15（受付開始 13：15 ～）

場 所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ
<http://solacity.jp/cc/index.html>

主 催：(一社)電子情報技術産業協会 ITS 事業委員会／自動走行システム研究会

共 催：(特非)ITS-Japan、(一財)日本 ADR 協会

定 員：400 名（定員になりしだい締め切らせていただきます。）

参加費：4,000 円（税込）／名

学生（大学生以下） 無料

※参加費のお支払いは、当日現金でお願いいたします。領収書を発行いたします。

URL：<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=948&ca=1>

申込方法：事前申込制。下記 URL ページにある「受講申込フォーム」よりお申込みください。

申込 URL：<https://39auto.biz/jeita/touroku/thread35.htm>

申込期限：平成 29 年 2 月 20 日（月）

ただし、申込期限までに定員に達した場合は、その時点で締め切らせていただきます。

問合せ先：一般社団法人電子情報技術産業協会

インダストリ・システム部 担当：近藤

TEL：03-5218-1057

E-mail：hiroshi.kondo@jeita.or.jp

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル

■ ソラシティカンファレンスセンターへのアクセス
アクセスマップ

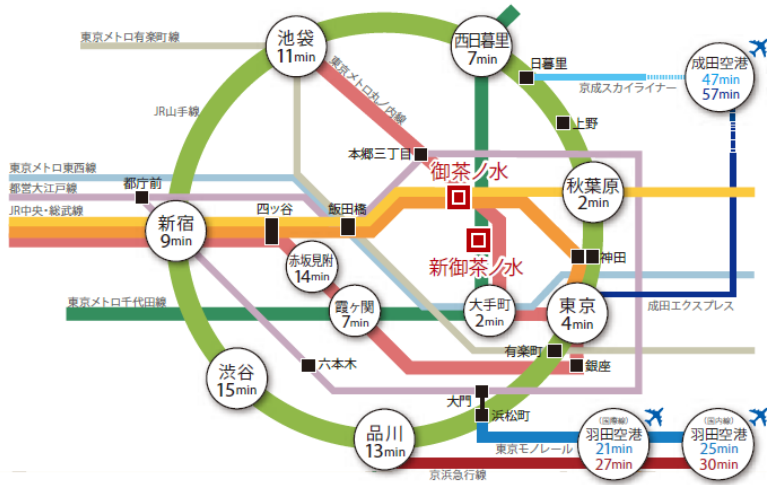
◆交通

JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」 駅
聖橋口から 徒歩 1分

東京メトロ千代田線 「新御茶ノ水」 駅
B2 出口【直結】

東京メトロ丸ノ内線 「御茶ノ水」 駅
出口 1 から 徒歩 4分

都営地下鉄 新宿線 「小川町」 駅
B3 出口から 徒歩 6分



sola city Conference Center
ソラシティカンファレンスセンター

101-0062

かんだするがだい
東京都千代田区神田駿河台 4-6

御茶ノ水ソラシティ

電話 : 03-6206-4855 Fax : 03-6206-4854

mail : info-cc@solacity.jp

- ◆ sola city Hall ソラシティホール …2階
- ◆ Terrace Room テラスルーム …2階
- ◆ Room A, B, C, D …1階
- ◆ Office (カンファレンス管理室) …1階

※お客様用の駐車場はご用意がございません。
ご来場の際は、公共交通機関をご利用くださいませ。

プログラム：

| 時間 | タイトル | 登壇者 |
|---------------------|--|---|
| 14:00 ～ 14:30 | 社会に浸透する人工知能 | 立命館大学 情報理工学部 情報コミュニケーション学科 准教授 服部 宏充 氏 |
| 14:30 ～ 15:00 | 法的課題と法整備の最前線 | 明治大学 法科大学院 教授 中山 幸二 氏 |
| 15:00 ～ 15:30 | 自動運転社会における 自動車保険・損害保険会社 の役割 | 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 リテール商品業務部 商品企画グループ 特命課長 吉田 英徳 氏 |

プログラム :

| 時間 | タイトル |
|-------------------------|--|
| 休憩 (15分) | |
| 15 : 45 ~ 17 : 15 | <p>模擬裁判 「自動運転社会で想定される紛争解決方法」</p> <p>自動運転が普及するにあたり、紛争解決の場においても、車載機に保存されたデータが重要な役割を果たすことが想定されます。 裁判所においては車載機に保存されたデータの証拠提出がどのように求められるのか、「仲裁」という当事者間合意をもとにした非公開手続における証拠提出の仕方を、デモンストレーションを踏まえて概観し、自動運転車社会における新たな紛争解決方法の模索を図る講演です。 本講演は、明治大学法科大学院教授の中山幸二のほか、新進気鋭の研究者及び弁護士を中心とした「自動運転・法的インフラ研究会」がデモンストレーション等を担当します。更に「裁判外紛争解決手続」に関する解説を（一社）日本ADR協会 調査企画委員である東京大学 大学院法学政治学研究科 垣内秀介教授が行います。</p> |
| | 閉会 |